

トピック ―レタスとキャベツの価格動向―

レタスは、11月上旬から少なめの入荷量となり、価格が平年及び前年を上回って推移し、12月中旬以降、価格が大きく上昇している。入荷量が減少したのは、11月以降、平年より早い寒さが訪れたことから生育が停滞し、供給量が少なくなったことによる。

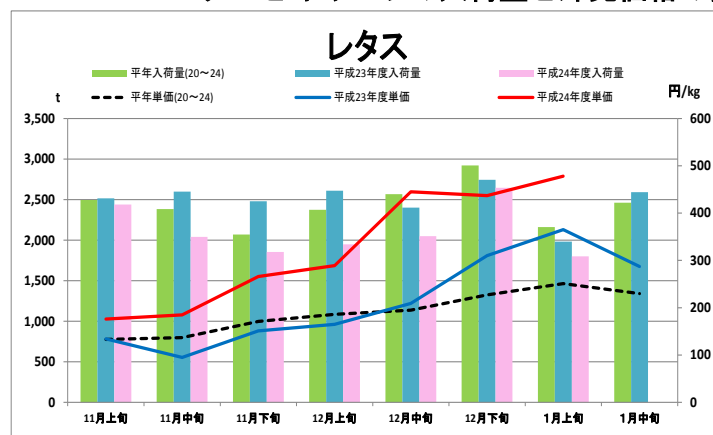
一方、キャベツの価格は、11月上旬から12月上旬までは、平年及び前年を下回って推移していたが、12月中旬以降、入荷量がおおむね平年及び前年を上回っていたにもかかわらず、価格は平年を上回って推移している。

これは、レタスの入荷が少ない中で、加工・業務用を中心にレタスからキャベツへの代替需要があったことが大きく影響したものと思われる。

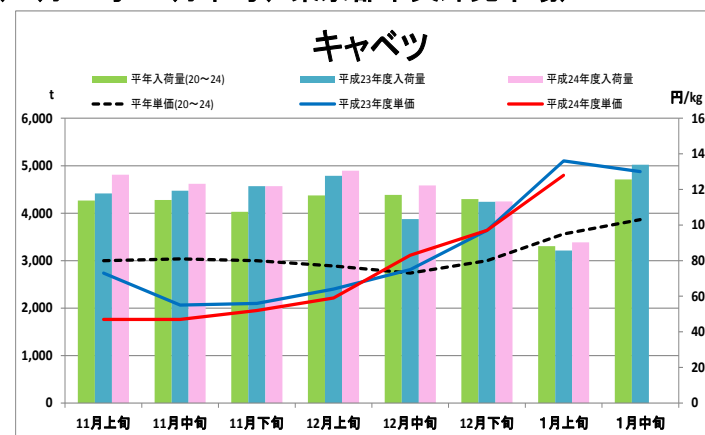
過去のレタスとキャベツの入荷量と価格の関係をみると、レタスの入荷量が少なく、価格が高くなると、キャベツの入荷量は減少しなくても、価格が高くなっている。

今後、キャベツの主産地の愛知産の出荷は比較的順調であると見込まれるものの、レタスが主産地の静岡県等が低温の影響で、今後も少なめの出荷が続くと見込まれることから、キャベツの価格はしばらく高めに推移するものと思われる。

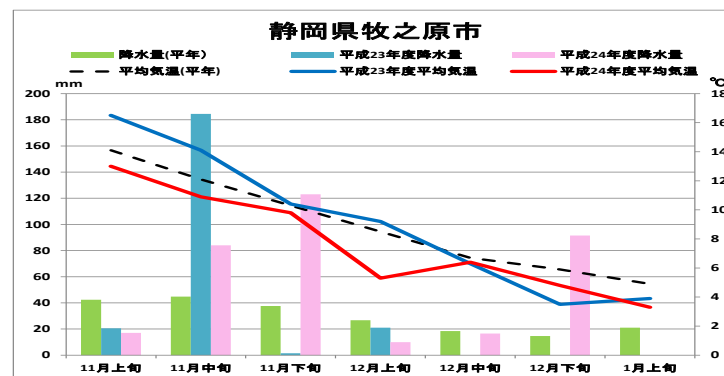
レタスとキャベツの入荷量と卸売価格の推移(11月上旬～1月中旬、東京都中央卸売市場)



資料：青果物情報センター



レタスの主産地の気象(11月上旬～1月上旬)



資料：ベジ探(原資料)気象庁「気象統計情報」

レタスとキャベツの旬別入荷量と単価の平年比の比較

(東京都中卸売市場)

時期	品目	入荷量平年比	単価平年比
平成17年冬 (12月下旬)	レタス	86%	157%
	キャベツ	100%	179%
平成24年冬 (12月中旬)	レタス	84%	187%
	キャベツ	103%	109%
平成24年冬 (12月下旬)	レタス	94%	158%
	キャベツ	100%	113%
平成25年冬 (1月上旬)	レタス	83%	190%
	キャベツ	103%	135%

注:平成15年以降で、冬のレタスの単価が高く(150%以上)、キャベツの入荷量が平年並み以上の時期を抽出した。

資料：青果物情報センター

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 村野、須藤、山田 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484 ご意見、ご要望をお寄せください。

◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表時にメルマガでお知らせしますので、ご希望の方はベジ探のトップ画面、メルマガ配信登録・解除ボタンから登録してください。

★この「野菜の需給・価格動向レポート」は、http://vegetan.alic.go.jp/vegetable_report.html に掲載しています。